

コロナに負けず、自遊展開催決定！

令和2年10月26日からの1週間にわたり計画していた第6回自遊展は、予定通り実施することが決まりました。

7月8日に自遊展の幹事15名が協議し、経済学部創設100周年まで絶やすことはできないと、全員一致で決定されました。100周年の令和4年には記念式典会場に隣接する県立美術館での開催を目指します。

幹事会に出席したのは

田中雅雄（代表）、尾登憲治（副代表）、定松亮（絵画）、伊南嘉之（絵画）、木山広喜（書道・俳句・川柳）、石井健治（写真）、安東政義（書道）、安部暢宏（陶芸）、加賀田壮二郎（音楽祭）、平嶋拓人（大分大学写真部）、野田愛佳（経済学部社会イノベーション学科）、仲井麻衣（〃）、大西祐美（〃）、高橋秀武（事務局）の皆さんです。



○芸術文化作品の展示会はアートプラザ 10月26日（月）～11月1日（日）7月末まで出品者を募ります。短歌・俳句・川柳の作品は木山幹事、安東幹事が清書し、幹事全員で装丁作業を担います。

○大分の歌音楽祭は屋外で開催

前回のコンパルホールから今回は三密を避けて屋外で開催します。「祝祭の広場」を第一候補に会場を選定し、内容については社会イノベーション学科渡邊ゼミの学生を中心に詰めていきます。

自遊展に多数の四極会員のご参加をお願いします。